

# 共に歩まん

## 「教科横断的」？



例えば、この目標の学校において「教科横断的」の視点で、各教科が授業をするとき、何を大切にするか、指導主事も考えてみたよ！

学校が目指す子ども像を基に、どんな授業ができるか、考えてみようよ！

学校教育目標

やさしく  
かしこく  
たくましく



English

たくさん英語を使って関わり合う

子どもを信頼する  
特別活動

社会多面的多角的に考える

他者を思いやる子ども

自分もgood  
仲間もgood  
保健体育



学び合い高め合う

音楽科

音楽から魂を採取  
こと、感じ取ったことを  
踏まえて、学習を振り返ること。

家庭科、技芸  
実践的、体験的の活動を通して、自分の問題や願いを解決する工夫をする

自ら問題を見だし、追究する子ども

目指す子ども像

諦めず、最後までやり抜く子ども



特別支援  
子どもたちが見通しをもって、安心して活動できるようにすること

理科  
比抜いて自ら問題を見だし、場を工夫

算数・数学  
論理的、統合的・発展的に考える

道徳科  
問題意識を共有し、自分事として考える

生活・総合  
自己の生き方を問い続ける

国語科  
自分がどのように言葉をとらえ、とらえ直したのかを振り返る

「自ら問題を見だし」が多くの教科等で力を入れているんだ！自分の授業はどうだったろう…

全ての教科等で他者を思いやる気持ちが基盤となっているね。これからの授業でこの視点も大切にしたいな！



「教科横断的」とは、学校が目指す子ども像の具現のために、教科等の指導で何を大切にしているかを先生方で確かめ合い、授業づくりに生かすことだね。  
そんな実践を重ねていくと、各教科等で身に付いた学力が、他の教科等でも生かされていくことになるね。それが学校全体で子どもを育てること、つまりみんなで作る「カリキュラム・マネジメント」だね！



【安曇野市立堀金小学校】

清水 彩先生

5学年 We can!1 Unit 6

“I want to go to Italy.”

○堀金小学校学校教育目標

「みつける」「きたえる」「おもいやる」  
～外国語活動における目指す子どもの姿～  
自分の考えをもち、相手に配慮しながら  
コミュニケーションを図ろうとする子ども

「私」を  
伝え

「伝えたい！」と思う、目的が明確な言語活動の充実

Lesson Goal 「行きたい国について友だちと伝え合おう！！」を達成するために、子どもたちは、「理由を伝えられたら、その国に行きたい気持ちが伝わるのではないか」と考えました。清水先生は、子どもたちとのやり取りを通して、Today's Goalを「行きたい国とその理由について友だちと伝え合おう」に設定しました。



清水先生は、学校の先生方と目指す子ども像の具体を共有し、「Lesson Goalを子どもたちと共有すること」で、子どもたちに単元の見通しをもたせることを大事にしてきました。

学校全体で、明確なGoalがある外国語活動を行うこと、伝え合うことを重視した実践を積み重ねることにより「既習の表現やジェスチャーを用いるなどして、自分の考えや気持ちを一生懸命伝えようとする堀金小学校の子どもたち」が育ってきています。

主体的な学び

相手を  
受け止め

### 友の姿から学び、自分のリアクションに生かす対話活動



1回目の対話活動の様子を共有するために、学級全体の前で一組のペアが対話を行いました。Aさんが、自分の思いをまとめたボードを使って「アメリカに行きたいこと」「グランドキャニオンを見たいこと」を伝え、  
“That sounds nice.”というリアクションをBさんがしました。Aさんが、“I want to eat a hamburger.”と続けると、今度は“That sounds yummy.”と話の内容に合わせて工夫した英語が返ってきました。

清水先生は、1時間の授業中に対話活動を2回行いました。1回目の振り返りを2回目の対話活動に生かす機会をもてるようにしたいと願ったからです。

直接かかわり合うことだけでなく、「“That sounds yummy.”とリアクションしてもらった時、Aさんが嬉しそうにしていたな。食べ物の話がでたら、私も使ってみよう！」と友の姿から学んだことを、自己の学びに生かすことも対話的な学びになります。

対話的な学び

自分を  
見つめる

### 英語を使って相手と通じ合えた喜びを感じる子どもたち

終末で子どもたちは「質問も英語で言えた」「すぐに会話が終わったので、サンゴ礁を英語で何というか聞けばよかった」など、できるようになったことや課題を振り返っていました。中には「わからなかった英語を先生に聞いたらわかった」と学び方を振り返る子どももいました。



清水先生は「英語を使って何ができるようになったか」「できるようになってどう感じるか」「もっとできるようになりたいことは何か」を問いかけ、本時の学びを子ども達と振り返りました。子どもと教師で「思いや考えを伝え合うことができた喜び」や「自分の英語力の向上を実感する喜び」を共有することが、深い学びへとつながっていきます。

深い学び

思いや考えを伝え合う言語活動の場面を位置付けることで「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」を一体的に評価することができそうだね。





# 「一帯一学」への扉

## 学校人権教育連絡協議会 特集



### 人権教育の視点を位置付けた 授業公開と研究会



小学校、中学校、高等学校の先生が集い、自校の子どもを思い浮かべながら、明日からの人権教育の充実のために、学び合いました。



## 「学びの笑顔」と出会うために

### 97° ロック 総合 木曾

大桑村立大桑中学校（中1）

単元名 福祉体験学習

矢久保 竜晃 先生

### 本単元の人権教育の視点

自分も相手も居心地のよさを感じるために大切にしたいことは何かを見いだす。



### 本時の子どもの学びの姿

相手の嬉しさが自分の嬉しさになることを実感でき、相手のためにと考え、自ら進んで行動したいという思いを表す子どもとの出会いがありました。

### 107° ロック 特別活動 安曇野

安曇野市立三郷中学校（全校）

議題 「ほめノート」について振り返る

生徒会役員、堀内 翼 先生

### 本時の人権教育の視点

自分が言われてうれしいことを相手に伝えていきたいという意欲がもてる。



### 本時の子どもの学びの姿

生徒会役員が推進役となり進めていました。「ほめノート」で相手に伝えられてうれしいことを振り返る中で、他者のささやかな行為にあるよさに心を寄せて相手に伝えたいという思いが、全校に広がっていきました。

### 107° ロック 道徳 松本

松本市立並柳小学校（小3, 4）

主題名 努力と強い意志（小3）

教材名 「よわむし太郎」

金井 亜希 先生

主題名 分けへだてをしないで（小4）

教材名 「ひとりぼっちのYちゃん」

志野 琴栄 先生

### 本主題の人権教育の視点

登場人物の心情を考える中で、自他にとってよりよい関わりができる自分になりたいという意欲がもてる。



### 本時の子どもの学びの姿

教材中の人物に重ねて自分の思いを仲間と伝え合っていました。その中で、自他にとってよりよい行為を選び、実践できる自分でありたいという願いをもつ姿がみられました。

### 107° ロック 地歴公民科 塩 筑

長野県梓川高等学校（高3）

題材名 蘇生中止容認 広がる

久保 しのぶ 先生

### 本題材の人権教育の視点

自他の生命を尊重するための行為を選択、決定し、行為として表すことの難しさと尊さを感じることができる。



### 本時の子どもの学びの姿

蘇生の可否を家族、救急隊の立場から考えました。その中で他者と共生するためには自分の「使命」を見だし生きていくことが大切だと考え、今後どう生きるかを自らに問う姿がみられました。

### 117° ロック 特別活動 大北

大町市立美麻小中学校（8年）

題材名 自分たちにとっての憩いの場

村田 茜 先生

### 本題材の人権教育の視点

- ・自分の考えや願いを伝えたり、友だちの考えを認めながら聞いたりすることができる。
- ・互いの相違を認め、多様な意見に共感しながら、学級の方針を決めだそうとすることができる。



### 本時の子どもの学びの姿

自分たちで教室環境を考えるという自由な議論の場を子どもと先生がつくりました。互いの意見を認め、願いを語り、教室を自他にとって心地よい居場所となるためにできることを模索しました。

# 学び続ける教師 ～第3回授業力アップ講座 11月25日（月）～

先生（社会科）の日頃の授業の悩み、明らかにしたいこと

- ・1時間の授業の基本的な流れはどうあればよいか
- ・子どもの追究に必要な資料を選定するためには？

## 指導主事からの助言

「導入で生徒の内に『問い』が生まれるための手立てを考えて、授業の構想をしてみたら？」

「授業の導入，展開の段階で子どもにとって必要な資料は何かを考えてみたら，授業づくりの手がかりが見えてきました。モヤモヤがすっきりしました」

「『資料を基に，生徒から学習問題が生まれる授業』を学校に戻ってやってみたい！」

## 自校に戻り，実践。そして，授業を振り返って

○中1地理「ヨーロッパ州」 導入で生徒から学習問題を引き出すための資料：ピザの写真

☞ 生徒と共に据えた学習問題 「ヨーロッパで盛んな農業は何だろう？」

★ 先生の手応え「生徒と共に学習問題を据えることのよさが分かりました！」

先生は，新たな願いをもって学校へ戻ったよ。そして，研修で学んだことを実際の授業づくりに生かしたんだね。

明日の授業に生きる「授業力アップ講座」に，先生方もどんどん参加してね！

## 木曾郡研究主任会 授業公開を通して自校の研究を見つめ直す，研修のリレー

### 第1回研究主任会 会場：福島小学校 (5月9日)

- ・福島小の取り組みと子どもの姿から学ぶ
- ・研究主任としての自己課題を明確にする

### 第2回研究主任会 会場：上松中学校 (8月29日)

- ・上松中の取り組みと子どもの姿から学ぶ
- ・1学期の取り組みから，次の一歩を考え合う

### 第3回研究主任会 会場：木曾町中学校 (1月30日)

- ・木曾町中の取り組みと子どもの姿から学ぶ
- ・本年度の研究主任としての自己課題を振り返り，来年度の自校の研究の方向を見いだす

福島小の取り組みと子どもの学びの姿を語り合う中で，自校の研究の方向を探る先生方

【参加した研究主任先生からの感想】  
「上松中の取り組みから，先生方のよさを校内で共有することの大切さを学びました。帰校後，研究通信等で共有していきます。」

【木曾町中学校 研究主任先生より】  
子どもが自ら学びを進めていくために，私たちは何ができるかを考え，模索し続けてきました。子どもが既習の知識を活用し，追究する授業を公開しようと考えています。ぜひご覧ください。

授業公開を基にした研修を進める中で，自校の子どもを思い浮かべながら，研究をどう進めていくかを考える先生方との出会いがありました。先生方も「主体的」に学んでいます。



木曾

ゾーン

中信ゾーン探訪

